

小松浮立由来記



小松浮立保存会
佐賀市教育委員会

小松浮立由来記

蓮池町の中央の田圃の一角に小さなお社が、木立に取りかこまれてぼつりと建っている。入口には鳥居も立派なものが建っており、その鳥居の東側に二個の力石がころがっている。人通りはめったにないので、町民でここに社があると気付く者もあまりない。

これが古老の話につたえられた、祭神に平重盛卿を祭った小松神社である。重盛は小松内大臣とも云われ、今から八百年程前、当時の日本の政治を左右していた平氏の中で人徳高く、父親平清盛でさえ一目おく武将であった。

寿永四年の春、栄華を誇った平家一門も、源義経の急追に、あえなく壇の浦の海のもくずと消えたが、生き残った者が数船にわかれ、海岸づたいに南下し、九州の山々にさまよい逃亡をつづけ、永い日数をかけて一部が筑後川沿を下り、今の蓮池町小松に來り土着し、永住の地と定めた。そして当時荒れはてていた田地を開拓し、源頼朝の目をのがれていたが、永久元年(1219)源氏が滅んだので、土着していた人々は人徳者平重盛をしたい、社を建立し小松神社となづけて心のよりどころとした。地名もこの時代の前後に誰れ云うとなく重盛の別名をつけ小松の郷と、となえられた。

小松部落は昔は正月に餅をつかず、重箱にもち米の蒸し飯をつめて正月をしたそうだが、現在はその風習はすたれている。ここには平尾姓が多く、これも平氏の頭文字からとったと云われるが、これはあてにならぬ。この外他の部落にない奇習があったが、今はそれも忘れられている。

小松神社は落人達の信仰の的となり、重盛卿をなぐさめ農耕の暇の春秋二回を選び、神前で奉納した踊りが小松浮立のおこりである。しかし小松浮立の根源はここで新しく発祥したのではなく、落人達が、京、浪華、兵庫

で栄華をきわめていた時代、平清盛が外国(今の中国)との貿易を盛んにするため、港を兵庫に定め、これを大々的に築港した。この基礎工事の際、海が荒れてどうしても工事がはかどらなかった。清盛はこれは海神の怒りにふれていると見なし、部下に命じ、当時の楽器、太鼓や鉦をはやし立て人夫を督励し海神の怒りをなだめた。その効果はたちまち現われて海神の怒りはとけ、海も鏡の如くなった。築港は目出度く完成し、唐船は和船と共に、出船千隻、入船千隻の殷賑をきわめた。その後平家一門の人々は、築島築港の音頭を、館の建設や住居の新築に演奏し、無事完成を祈るのがならわしとなった。これが小松浮立の源となったものである。

蓮池町小松郷の浮立は築島浮立の分かれで、落人達が昔をしのいで小松神社に奉納したのが小松浮立の始まりである。この浮立は楽器に笛がなく、一名笛なし浮立とも云われる。これは一の谷の戦に、源氏の急襲に完敗した平家一門が船で沖にのがれた時、十六才の若武者平敦盛が日頃愛用していた笛を館に忘れ、取りにかえり再び船に引かえした際、熊谷次郎直実と云う源氏の荒武者に呼び止められ、討死したので、浮立演奏の時に、笛を遠慮し楽器に入れずそのまま今日に受けついでいるのである。小松部落では、今でも家の新築の際は小松浮立が演奏される。

この小松浮立は佐賀市の指定文化財に昭和42年2月11日指定されている。

内 容

(1) 出演者とその行粧

イ、天竺舞(青年男子1人):天月と呼ばれる径1米余りの大きな衡角形のかぶり物を頭につけ、口を白布でおおう。白衣の上に鶴の背紋の法被をつけたつつけ袴を

はく。手甲、脚絆にわらじばき、腰にメ縄を巻き、うしろにごぎを垂らす。

ロ、鉦打（青年男子）：

花編笠をかぶり、法被に赤だすき。

ハ、もらし打（少女）：

花笠をかぶり、手甲に脚絆をはく。もらし（小太鼓）を腹部に吊す。

ニ、ゼイ（少年多数）：

ゼイと呼ばれる道具を持つ。

ホ、ササラ（少女多数）：

手にササラを持つ。

ヘ、頭取：

長老でカミシモを着け、陣笠をかぶる。

(2) 道具と楽器

イ、大太鼓：下に敷物をしきメ縄で飾る。

ロ、鉦

ハ、もらし：小太鼓

ニ、ゼイ：長さ2米の竹竿に金輪で通した銭をつけ紙幣をさげる。

ホ、ササラ：竹札をつづり合せたもの。

(3) 曲目

本拍手、まくい、高い山、道行。

(4) 所作

道拍手とともに、道行が始まり、神前につくと、大太鼓をすえ、その前に天竺舞が位置する。左右に頭取、ゼイ、ササラ、モラシと位置し、鉦は半月形に並ぶ。

天竺の掛声で本拍子が始まる。本拍子の時に小謡一番があげられるが、小謡は神前寺前、民家、出陣とその折によって異なる。本拍子とまくいとの間の天竺舞の所作は多彩で太鼓を打つ。神前に進む。拝礼し米と塩をまく。太鼓の位置に戻るという順序で行なう。鉦打やモラシ打は、ほとんど位置を変えず所作は素朴である。

(5) 行なわれる時期および場所

旧暦8月12日の小松神社（佐賀市蓮池町小松）の祭典に行われる。

